

2015年4月1日

関係者各位

ユナイテッド計画株式会社

秋田県秋田市における 20MW木質バイオマス発電事業の出資について

—最大出力 20,000kW 東北最大級の木質バイオマス発電—

ユナイテッド計画株式会社（本社：秋田県潟上市昭和豊川槻木字槻 13-1、取締役社長：平野 久貴）はこの度、フォレストエナジー株式会社、株式会社レノバと共同で特別目的会社（SPC）「ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社」への木質バイオマス発電事業に出資する事を決定し概要について記者会見を行いましたのでお知らせ致します。

本事業は、秋田県秋田市向浜において計画される最大出力 20,000kW の木質バイオマス発電事業であり、東北地方では最大級となります。総事業費は約 125 億円、2016 年 7 月の運転開始を予定しています。

木質バイオマス発電事業は、バイオマス燃料の調達量を安定的に確保することが事業のポイントとなりますが、本事業では地元の林業者等と連携することで地域の間伐材を安定的に調達する体制を構築し、さらに補助燃料として PKS（Palm Kernel Shell）等を調達することを計画しています。

これまで需要の乏しかった県内未利用材を本事業で有効活用することで地元林業への波及効果等の地域振興が期待されており、また、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構が優先株で出資するほか、融資は地元金融機関を中心に 75 億円、秋田県のふるさと融資（無利子融資）31 億円が予定されるなど、地域に根差したプロジェクト推進体制となっております。

本事業の意義は、主に以下の 3 点となります。

- ① 秋田県はスギ人工林資源が全国一の資源量を誇る、豊富な森林資源を有しているものの、特に県南部では積雪によるまがり材等が多く、間伐等による隣地残材も未利用のまま大量に蓄積している。本事業は、これら地元未利用材を活用することで、適正な森林管理、地元林業や関連産業の活性化に貢献するものであること。また、本発電所における新規雇用（25 名）や、関連するチップ工場等での新規雇用等、幅広い範囲の地域経済活性化効果が見込まれること。
- ② 資金調達においては、秋田県のふるさと融資や地域金融機関による融資等、地域の関係者が協働して進めるプロジェクトであること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は、77,088 t-CO2/年を想定）。

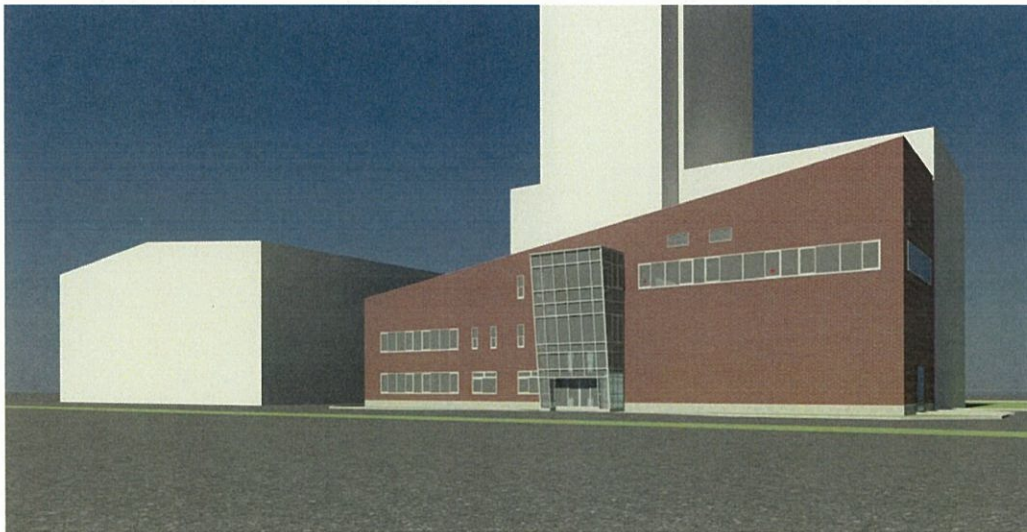
今後 SPC は、住友重機械工業(株)製のボイラーを使用する木質バイオマス発電所を建設し、稼働後はユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社が発電設備の運転・維持管理・保守を行う予定です。また発電電力は東北電力及び特定規模電気事業者（PPS）等へ売電されます。

【3月31日秋田県庁記者会見場にて】



【(株)レノバ 木南社長（左） ユナイテッド計画(株) 平野社長（中央） フォレストエナジー(株) 沼社長（右）】

【木質バイオマス発電所のイメージ図】



所在地	秋田県秋田市向浜1丁目8番1号
開発規模	20MW
想定年間発電量	年間1.3億kWh程度
CO2削減量	年間77,088トン程度
工事着手	平成26年4月着工
運転開始予定	平成28年7月（予定）
開発敷地面積	約2.7万㎡
発電事業者	ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社 （ユナイテッド計画(株)、フォレストエナジー(株)、(株)レノバ、の3社による出資法人）